

夏休みだからこそ 大切にしたい 日常の生活体験

早いもので、あと1週間ほどで夏休みを迎えます。4月からの3ヶ月半、子どもたちはめあてを持ち、さまざまなことにチャレンジしてきました。8月いっぱいまでの夏休み、子どもたちがよりたくましく成長する充実した夏休みとなることを願っています。学校では各学年でよい夏休みとするために、4月からの生活をふりかえり、一人ひとりにあった計画・めあてをたてられるよう指導しているところです。

子どもたちがたてる計画がよりよいものとなるためには、各家庭での事前の相談(実現可能、そして今より少し高めめあてがたてられたらいいですね)、また長い夏休み中、ずっと継続していくためには応援の声かけが必要です。加えて、ふだんじっくりと時間をかけて取り組むことができないような、家庭でのさまざまな生活体験(一家での仕事、手伝いにつながる)もしてほしいと思います。小さな体験が学習したことを生活のなかで実感、または今後の学習へつなげる貴重な体験になります。例えば・・・

○いっしょに買い物 お金の価値・大切さを学び、将来賢い消費者に育つよう、いっしょに買い物をしてほしいと思います。買い物に行くとき情報がいっぱいあります。ぜひ品物選びのポイントを教えてください。お金の使い方・計算力へもつながります。「〇〇円以内でおやつを選ぼう」「カレーの材料を考えて買おう」「〇〇と□□を見つけてきて」「〇〇グラム位のお肉を探して」「今日の買い物はおよそ〇〇〇円ぐらいかな」「品物を選ぶポイントは新鮮さ?値段?原材料?」等々 学年に応じて 会話を楽しみながら 買い物をしてみませんか。豊かな生活体験は、子どもの考える力を育てます。

○おやつを分ける 料理の手伝い 教える 分ける あわせる レシピをひもとく 重さを実感する

「〇枚のおせんべいを、家族3人で分けよう。」実際に分ける作業がわり算の考え方につながります。この経験を繰り返すと、わり算の理解が深まります。「兄6枚 弟4枚 友だち4枚あげるならなん枚必要?」これだとたし算?ふだん忙しいと袋をそのままわたしてしまうとか大人が分けてしまうなどしてしまいがちですが、おやつの時間、自分たちで準備させるのもいいと思います。加減乗除の計算は生活の中にいっぱいあります。ちょっと時間の余裕があるとき、ゲーム感覚でどうでしょうか。文章題が苦手な子どもでも、目の前のお菓子といっしょの計算なら 楽しんで取り組みます。

料理にも計算の場面がいっぱいです。レシピを理解するには読む力が必要です。レシピを読んで、家族〇人分を作るためにはにんじんを小2本、タマネギ中を3個、水を〇〇ml等考え、自分で手順を考え調理する。ひやひやどきどきがあるかもしれません。初めは手助けをして、だんだん任せることを多くする。自力で調理ができれば、大人になってからの自炊する力につながります。完成後は「おいしい!」のメッセージを。子どもたちは「やってよかった!」という満足感を得ることでしょう。

○家での仕事(役割)を決め、任せる 子どもたちにはふだん任されている家での仕事がありますか?、子どもがやると時間がかかったり逆に手間に感じることもあるかもしれません。でも、やらないとできないようになりません。お風呂掃除、玄関掃除、廊下の水ぶき、皿洗い、弟妹の世話、動物の世話・・・繰り返して学んでほしいことがたくさんあります。自分でやることで、やってもらっている仕事のたいへんさを理解できます。そして、任せたら、終えたあとの「ありがとう」「助かったよ」の一言を忘れずに。この一言が、子どもたちのやる気を継続させ、豊かな体験を育みます。

○予定表をつくり、自分で 時間を考え 行動する 学校があるときは、ほとんどの子どもが時間の管理ができています。でも夏休み中は、起きるのが遅くなったり何となくだらだら過ごしたりしがちではないでしょうか。**時間を管理する力は、学年が上がるにつれ、また大人になってから必ず求められる力です。** 何時に起きる、学習、自由時間は・・・、家庭によってリズムがちがうと思いますが、このくらいがいいだろうと思われる日課表をいっしょに作ってみてください。

お子さんとじっくり向き合える今は貴重な時間です。ぜひ、いっしょに楽しんでほしいと思います。

三保っ子と交流し、仲間との絆を深めた 日光修学旅行

子どもたちの笑顔そして笑い声があふれ、あっという間にすぎた2日間。6月4日～5日と日光へ6年生が修学旅行に行ってきました。

今年も三保小児童と同じバスでの行動で、三保っ子5名とは日光へ向かう車中からすぐ打ち解け、男女共にすっかり仲良しになりました。三保っ子女子が1名だけであることを気遣う相和っ子女子たちから、「一人で寝るより、私たちの部屋でいっしょに過ごさせてあげたい。」と心温かい声があがりました。職員間で相談し、本人も「いっしょに過ごしたい。」と答え、相和っ子・三保っ子女子6名が同じ部屋で一晩を過ごしました。

2日間、観光客の多さにびっくりし、きらびやかな東照宮陽明門に魅了され、奥日光では自然美に

目を見はり、心から旅行を楽しむ子どもたちの姿を嬉しく思いました。



自分たちで創ろう！心に残る 楽しい林間学校 5年生

梅雨空が続くなか、久しぶりに青空が見られた2日間、7月3日～4日に5年生が足柄ふれあいの村に林間学校へ行きました。あまりの日差しの強さに、体調を心配しましたが、毎朝元気に朝マラソンをしている相和っ子、大雄山駅から元気に歩き、村内でもディスクゴルフ等をいっぱい楽しみました。夕飯のカレーライスも、上手にご飯もカレーも完成し、たいへんおいしかったようでした。

夜は、いよいよキャンドルファイヤーです。「遠き山に日は落ちて」の歌から、火の神様から勇気・友情などの火をいただき、いよいよ始まりです。担任の飯嶋先生のリードで、5年生の元気パワーが全開です。元気いっぴいの声、そして笑顔に、みんなでの時間を楽しもうとする気持ちがいっぴい伝わってきました。ナイトハイクも楽しみ、夜も寝るのがもったいなかったようです。2日目は道了尊まで歩き、学校に戻ってきた子どもたちはかなり疲れ気味でしたが、心に残る林間学校であったことが、その表情から十分に伝わりました。



「明日も楽しみな学校」をめざして

相和小学校では、「だれにとっても」「安全・安心で」「充実した学びの場」であり、「明日も楽しみな学校」となることをめざして、日々の教育活動を進めています。

一方で、いじめはどの子にもどの学校でも起こりうる問題であることから、いじめの未然防止・早期発見に努めています。そのための取り組みとして、全職員で子どもたちを見守ると共に何でも話せる関係づくり、加えて年2回の生活アンケート・面談等を実施しています。6月末に第1回生活アンケートを実施し、これをもとに面談・指導をおこないました。いじめとは・・・、いやな思いをしたら必ず相談しよう等学年に応じて指導をしました。自分では遊びのつもりでも相手がいやな思いをしていたら、これは遊びではありません。先日、地域の方から情報をいただき、遊び方について話し合うことができました。保護者・地域の方たちに見守っていただいていることをあらためて実感しました。ご家庭で、地域で、子どもたちの様子でお気づきのことがありましたら、今後も学校へお知らせいただくとたいへんありがたいです。どうぞよろしくお願いいたします。